

関西国際大学がインターンシップ アジサイが咲く日を願って

関西国際大学の学生7人が8月3日、復興まちづくり協働事業“アジサイ栽培による農の再生プロジェクト”で使用する畑の手入れをしました。

このプロジェクトは被災農地でアジサイを栽培し、農業の再生、復興の力にしようとするもの。学生たちは「プロジェクトの参加者と一緒に作業し、とても感謝された。自分たちの力が復興に役立てばうれしい」と話してくれました。



アジサイの植栽予定地で石を拾う学生たち

危ない所はないかな？ 毎日歩く通学路を点検

8月21日、前山小学校で防災マップづくりのために通学路の点検が行われました。

この活動は、復興まちづくり協働事業“学校と地域との連携による体験型の防災教育の推進”の一環。児童と保護者が一緒に通学路を歩き、危険な場所を確認しました。児童は「気を付けないといけない場所がたくさんあって驚いた。これから注意したい」と真剣に地図を見つめていました。



危険な場所を確認し、地図にシールを張る児童と保護者

丹波竜化石工房「ちーたんの館」 クールなナイトミュージアム！

8月11日から19日まで、ちーたんの館でナイトミュージアムが開催されました。

この企画は、丹波に帰省する方々に夜間、工房でゆっくり楽しんでもらおうと計画。照明を変更し、昼間とは違う雰囲気を楽しめるように工夫しました。来館者は「恐竜の迫力が増してとても格好いい。恐竜たちはもっと暗い夜を過ごしていたのかな」と想像を膨らませていました。



ライトアップされた展示物を見る来館者



迫力満点の丹波竜の全身骨格模型

夢の仕事にチャレンジ 医療体験セミナーを開催

8月27日、柏原赤十字病院で市内の中学生を対象とした医療体験セミナーが開催されました。

11人の生徒が受講し、手術模擬体験や採血、薬の調剤など7つの分野を体験。医師や医療スタッフの仕事や医療について理解を深めました。

セミナーに参加した生徒たちは「実際の病院で仕事の体験ができて楽しかった。将来の夢に一步近づけたと思う」と充実した笑顔を浮かべていました。



医師から説明を受け、慎重に電気メスを扱う中学生

B & G全国ジュニア水泳競技大会 全国大会5位・7位入賞！

8月20日、東京で行われたB & G全国ジュニア水泳競技大会で、久下絢乃さん（佐治小学校4年）が小学3・4年生の女子50m平泳ぎで全国5位、田村恭太郎さん（神楽小学校4年）が小学3・4年生の男子50mバタフライで全国7位に輝きました。

大会には、7月3日に豊岡市で行われたB & G兵庫県スポーツ大会で基準タイムに達した選手9人が出場。2人は「決勝に出られて嬉しかった。来年はもっといい結果を出したい」と話しました。



入賞した田村恭太郎さん（写真左）と久下絢乃さん（同右）

住まいと仕事をまとめて相談できる たんば暮らし&就職フェア

8月12日、春日住民センター大会議室で「たんば暮らし&就職フェア」が開催されました。

住宅や就職など丹波市で暮らすことをまとめて相談できるフェアとして、初めて開催されました。市内外から参加者があり、相談内容も新卒就職から移住後の就職など多岐にわたりました。

参加者からは「市内企業の面談と一緒に、住まいや移住後の暮らしについて相談できて良かった」との声が寄せられました。



住まいの情報を参加者に説明するワンストップ相談窓口職員

丹波を幸せな地域にするために 幸せの国ブータンで学ぶ



アンケート実施中

県立柏原高校2年1組の生徒5人は、8月22日から29日の8日間、ブータン王国の人々の考え方を学ぶため現地で研修を行いました。

生徒たちは「丹波市を幸せな地域にするためには何が必要か」を研究中。国の発展と国民の幸せの両方を大切に、ブータンの「国民総幸福量」という考え方にヒントを得て調査を進めています。今後は街頭インタビューやホームページ上のアンケートなどで丹波市民の考え方を調べます。



ブータンの高校生の話に耳を傾ける白髭一翔さん（写真手前右）